

## ICT利活用ルール整備促進事業（サイバー特区）募集要領

### 1 提案募集の対象

ICT基盤の先進国の日本が、さまざまな分野でICT利活用を一層進めていく上で新たに生じる制度的な課題（法制度、慣習、社会規範等）を検証し、課題解決策を導き出すとともに、先進的なルール整備を早期に実現することにつながる実証実験のテーマを募集します。（1件当たりの事業費の上限は5千万円程度と想定しています。）

なお、提案を募集するテーマは、次の4つの類型に限ります。

① ネットと現実の融合に関するルール整備

【例】異なる仮想空間の間での共通ルール整備、仮想空間における新しい問題に対するルール整備

② 通信の秘密や個人情報保護に関するルール整備

【例】視聴情報利用に関するルール整備、ネットワーク利用制限に関するルール整備

③ コンテンツ流通に関するルール整備

【例】インターネットコンテンツの流通に関するルール整備、コンテンツ規律に関するルール整備

④ 公的サービス分野におけるICT利活用のルール整備

【例】医療分野におけるICT利活用のルール整備、教育分野におけるICT利活用のルール整備

実証実験の実施主体については、実施テーマ決定後、別途一般競争入札を行います。

### 2 評価の視点

提出された提案については、次の5要素を基準として総合的に評価を行います。

① ICT利活用に関する具体的な障壁が存在すること

- ・ICT利活用を進める上で、制度・慣習・社会規範等の明確かつ具体的な障壁が存在すること
- ・当該障壁の解消に取り組むことが社会的な訴求力をもつこと

② ネット空間上で当該障壁に関する実証実験を行い、課題解決策を導出できること

- ・ネット空間上で当該障壁に関する実証実験を行うことが合法的かつ物理的に可能であること
- ・実証実験を通じて当該障壁に関する課題解決策の方向性を導き出し、ルール整備を促進することが可能であること

③ 追跡可能なユーザによる限定的なネット空間を構築することが可能なこと

- ・ネット空間上に、予め一定の要件に同意し、利用状況が追跡可能なユーザによる限定的で安全なコミュニティを構築することが可能であること
- ・実験の実施体制が具体的で運営可能と見込まれるか

④ 国内外への成果普及について、具体的な方策を有していること

- ・実証実験を通じて得られるルール整備等の成果について、国内外への普及・展開や制度調和に資すること

⑤ 実証実験により達成すべきアウトカム指標が設定されていること

- ・障壁に関する課題解決の達成度や、成果普及の進捗を評価するための指標が設定されていること

評価に当たっては、必要に応じ、外部の有識者等の意見を聴くことを想定しています。また、平成 21 年度の実施テーマと同様のテーマの提案については、平成 21 年度の実証実験の成果を踏まえて採否を決定します。

平成 21 年度の実施テーマについては、実施テーマの決定に関する報道発表 ([http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/02tsushin01\\_000011.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02tsushin01_000011.html)) をご参照ください。

### 3 提案の提出方法

提案書を別添「ICT利活用ルール整備促進事業（サイバー特区）実施テーマ提案書」の書式により作成し、提案書に添付する図等とともに、原則として電子メールの添付ファイルとして提出してください。

ファイルの形式は、リッチテキスト(.rtf)、マイクロソフト社の Word 97-2003 文書(.doc) 又はジャストシステム社の一太郎(.jtd)の形式としてください。ただし、提案書に添付する図等は、リッチテキスト(.rtf)、マイクロソフト社の Word 97-2003 文書(.doc)、Excel 97-2003 ブック(.xls) 若しくは Powerpoint 97-2003 プレゼンテーション(.ppt) 又はジャストシステム社の一太郎(.jtd)の形式としてください。

電子メールの宛先は、次のとおりです。

電子メールアドレス： cyber◆soumu.go.jp

総務省 情報通信国際戦略局 情報通信政策課 宛て

※スパムメール対策のため、「@」を「◆」と表示しています。

送信の際には、「@」に変更してください。

なお、電子メール(添付ファイルを含みます。)の容量の合計が5MBを上回る場合には、ファイルを分割するなどした上で提出してください。

郵送で提出する場合の宛先は、次のとおりです。

〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2 合同庁舎2号館

総務省 情報通信国際戦略局 情報通信政策課 宛て

### 4 留意事項

提出された提案については、募集期間終了後、提案の名称、類型の別、概要をとりまとめて公表する場合があります。

なお、提案書の返却は行いません。

## I C T 利活用ルール整備促進事業（サイバー特区）実施テーマ提案書

※マイクロソフト社の Word97-2003 (.doc) の形式によるフォーマットは、[こちらからダウンロード](#)していただくことができます。

※提出に当たっては、**赤字の部分**を**全て削除**してください。

※このフォーマットに加えて、必要に応じて別紙を添付していただいても構いません。

## ○提案者に関する情報

提案組織の名称	
提案組織の代表者	役職： 氏名：
担当者連絡先	住所： 氏名： 電話及びFAX： 電子メール：

## ○提案内容

1. 提案の名称	※提案内容を的確に示す名称を記入してください。
2. 種類の別	※該当する類型に○をつけてください。 ① ネットと現実の融合に関するルール整備 ② 通信の秘密や個人情報保護に関するルール整備 ③ コンテンツ流通に関するルール整備 ④ 公的サービス分野におけるI C T利活用のルール整備
3. 概要	※I C T利活用を進める上での障壁や実証実験について、概要を記入してください。
4. 実証実験の対象となるI C T利活用に関する障壁	※I C T利活用を進める上での制度・慣習・社会規範等の障壁について、具体的に記入してください。
5. 実証実験	(実証実験内容) ※実証実験内容について具体的かつ分かりやすく記入してください。 ※3. に関し、当該障壁に関する条件変更の内容や、実証実験を行うことにより導出される課題解決策の方向性について具体的に記入してください。 ※この欄における説明のほか、概要を示す図を別紙として添付してください。

	<p>(実施体制・役割分担)</p> <p>※実施テーマ提案者が本実証実験の実施主体として選定された場合に、本実証実験をどのような体制（組織構成・役割分担等）で行うことを見込んでいるのかについて、具体的に記入してください。</p>
6. 実証実験の対象となるネット空間の構成	<p>※追跡可能なユーザによる限定的なネット空間の構築方法について具体的に記入してください。</p>
7. 事業規模	<p>百万円</p> <p>※積算書（様式自由）を添付してください。</p>
8. 見込まれる国内外への成果普及	<p>※国内への普及・展開や制度調和への貢献の方策について具体的に記入してください。</p> <p>※海外への普及・展開や制度調和への貢献の方策について具体的に記入してください。</p>
9. スケジュール	<p>※実証実験及び実証実験成果の国内外への成果普及について、スケジュールを具体的に記入してください。</p>
10. アウトカム指標	<p>※実証実験の成果（制度的課題の解決、国内外への成果普及）を検証するための具体的な指標を記入してください。</p>
11. その他 (補足すべき点等があればご記入下さい)	

※ 記述された内容に関し、別途問い合わせることがあります。

※ 複数の実施テーマを提案する場合には、実施テーマごとに別の提案書を記入して提出してください。